

佳作 日本でのインターン中に遭遇する一般的な課題



グエン ティ ジェム

NGUYEN THI DIEM

国 籍 ベトナム

職 種 ビルクリーニング

実習実施者 株式会社沖繩ダイケン

監 理 団 体 一期一会協同組合

日本に来てから、たくさんの思い出に残る感動や経験をしてきました。最初は言語、文化、仕事のスタイルに至るまで、すべてが新しいものでした。最初の頃はコミュニケーションや生活環境への適応、同僚との知り合いなど、多くの困難に直面しました。しかし、皆さんの助けと私自身の努力により、私は徐々に日本文化を理解し、日本流の仕事の仕方を学ぶことができました。日本に住むことは私に自立心を養うだけでなく、自己啓発の機会も数多くもたらしてくれます。時々ホームシックになったり、仕事でストレスを感じたりしますが、それでもこの国にもっと溶け込みこの国の興味深いものを楽しむように毎日努力しています。日本は独特の文化と多くの独特な行動規範を持つ国です。インターンや新人にとって、日本人の同僚や人々と溶け込むのは簡単ではありません。しかし、文化をよく理解し、正しい姿勢を保てば、すぐに適応し良好な関係を築くことができます。

私が日本に来た時に直面しなければならなかった言語の壁は、まさに「ボスレベル」でした。初めて来たときは、日本語をかなり上手に学んだと思っていましたが、

実際は大きなショックでした。同僚たちは電光石火の速さで話し時には何を話しているのか全く分からないのに、私は微笑んだり漠然と頷いたりすることしかできませんでした。クライマックスは、料理を「おいしい」と褒めようとしたのですが、緊張のあまり「ひどい」と言ってしまう、全員が目を丸くしました。言うまでもなく、敬語は難しい数学の問題のようなもので、たった一つの単語を間違えるだけで「丁寧」とい言葉がすぐに「失礼」変わってしまうことがあります。しかし、その混乱した時期のおかげで、私は多くのことを学び、より注意深く耳を傾け、より多く話す練習をしコミュニケーションをとるときに徐々に「愚か」ではなくなりました。まだ時々間違いを犯しますが努力を続ける限り、いつかこの言語のボスを「打ち負かす」ことができると信じています。

日本でのインターンシップは、多くのチャンスに恵まれる一方で、さまざまな試練にも直面します。言葉の壁、文化の違い、仕事のプレッシャー、そして異国での孤独感など、どれも私を成長させ、強くしてくれる貴重な経験となりました。困難のひとつひとつが学びであり粘り強さ、向上心、そして前向きな姿勢によって、少しずつ乗り越えることができました。それからも未知のことがたくさんありますが努力を惜しまず挑戦し続ければ、どんな困難も自分の成長の糧となり、やがて日本という国で実りある成果を得られると信じています。